

塩治コミュニティセンター報

ENYA COMMUNITY CENTER NEWS

電話/0853-21-0248 Fax/0853-21-3837
メールアドレス/enya-cc@local.city.izumo.shimane.jp

No.206 [2022年9月21日発行]

塩治地区の世帯数と人口

令和4年8月末現在

世帯数	7,395世帯
人口	15,852人
(男)	7,720人
(女)	8,132人

こんな事業をしました！

5月～6月は下のとおり事業を行いました。新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底しながら実施しました。多くの皆様にご参加いただき、ありがとうございました。7月～8月は計画していた事業もコロナ感染第7波の影響で中止となりました。

区民ハイキング

まちづくり部

5月18日(水)

快晴に恵まれた絶好のハイキング日和の中、19名が参加して斐川町の武部越えにチャレンジしました。スタート地点までバスで移動した後、荒神谷史跡公園を目指し、約4キロの山路を歩きました。今回は坂道が続く少しハードなコースでしたが、木漏れ日の中、気持ちの良い汗をかきながら新緑を楽しみました。荒神谷史跡公園では、ボランティアガイドさんの丁寧な案内で、自然と歴史を満喫し、親睦も一層深まりました。



ふるさと探訪

まちづくり部

6月14日(火)

20名が参加して「ふるさと探訪」に出かけました。時折小雨が降りましたが、心配された天気も徐々に回復し、バスで楽しく巡りました。出西岩樋から斐川環境学習センター（アース館）に立ち寄った後、旧海軍大社基地跡、斐川公園、新川鉄橋弾痕跡、最後に安産祈願で有名な御井神社を訪ねました。古事記に登場する神社や、江戸時代、戦時中の足跡に触れ、この地域の古くからの歴史に思いを馳せた探訪となりました。



EMぼかし作り

まちづくり部

6月28日(火)

9名が参加し、2グループに分かれてEMぼかしと発酵液を交互に作りました。

EM（有用微生物群）のはたらきで作られるEMぼかしは、土壌改良肥料として活用することができ、生ごみを減らすなどの環境づくりに役立つ肥料です。SDGsにつながる活動への関心が高まっていることもあり、参加された方たちは、活用法やコツなどを熱心に質問しながら、手際よく作業を進めていき、地域の交流にもつながる催しとなりました。



廃食油石けん作り

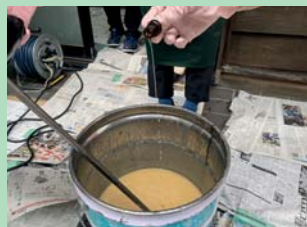
女性部

6月7日(火)

3名が参加し、牛乳パック16本分の石けんを作りました。参加者が持参されたアロマを入れ、香り付きの石けんが出来上がりました。

少人数の参加でしたが、参加者同士賑やかに作り終えました。「以前作った石けんがなくなりかけていたのでタイミングが良い」と喜んで参加されたリピーターの方、そして初参加の方もおられました。

「廃食油石けんは汚れがよく落ちるから良い」という感想をいただきました。



災害をふりかえり、防災対策をしっかりと



9月は「防災月間」ですが、皆さんは何か防災対策をされていますか。

出雲市や塩冶地区も過去に災害が発生しています。では、どんな災害が発生したのでしょうか。過去の災害をふりかえってみます。

塩冶地区は、58年前の昭和39年7月山陰北陸豪雨で、1時間最大降雨量62ミリ、累計250ミリの豪雨が発生しました。それにより、床上浸水1,767戸、床下浸水4,832戸、家屋全半壊174戸もの被害があり、行方不明者2名と41名の尊い命が失われました。(えんや物語より)

この他にも大きな災害がありました。塩冶地区の記録はありませんが、島根県、出雲市の被害の記録が下のように残されています。

50年前の昭和47年7月豪雨では、明治26年以来80年ぶりといわれる宍道湖の氾濫により周辺一帯が水没しました。また、江の川流域では、邑智郡内の家屋の大半が水没し、大きな被害となりました。(昭和47年災害－島根県HPより)

平成18年7月豪雨では、総雨量460mmの豪雨により神戸川中流部で越流するとともに堤防が破堤しました。出雲市内において3名の方が避難中に行方不明となり、命を失われました。(斐伊川水系神戸川の出水状況－島根県HPより)

昨年7月の大雨では、塩冶地区でも浸水などの被害があり、コミュニティセンターが出雲市の指定避難所として開設されました。7月7日には14名が避難して来られ、翌週12日に再度避難所が開設され、15名の方が避難して来られました。

今年7月19日も大雨で警報(土砂災害)が発令され、コミュニティセンターが出雲市の指定避難所として開設されました。この日は避難して来られる方はおられませんでした。市職員の方、塩冶地区災害対策委員会の方が一日中避難所設営をされていました。塩冶消防団も出動され、道路が冠水したところをポンプで排水をされました。

近年、毎年のように日本各地で地震や台風、大雨による洪水、土砂崩れなどの自然災害が多発しています。いつ、どこで、どんな災害が起こるか分かりません。「塩冶は大丈夫」「出雲は大丈夫」と思わず、日頃から非常持出品や3日以上以上の備蓄品を備えておきましょう。そして、出雲市の防災ハザードマップを使って地域の状況を把握し、防災地図を作るなどして備えましょう。

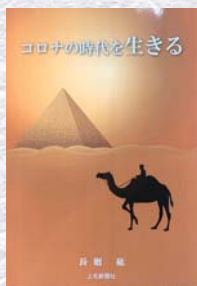
9月から10月は台風シーズンです。(昨年5月より、警戒レベル3は「高齢者避難」、警戒レベル4は「避難指示」と改正されています。)万が一災害が発生し、危険を感じられた場合は、早めに避難しましょう。(出雲市防災ハザードマップより)

ご自分の居住環境を考えられて安全な場所の確保に努めてください。

(野井ちなつ)



ご寄贈お礼



須山泰則さんから、同級生のご友人が出版された本「コロナの時代を生きる」をご寄贈いただきました。ありがとうございました。

著者の長廻 紘さんは、1941年生まれ、高校卒業までは塩冶町弓原在住です。東京大学医学部ご卒業後は、東京女子医大、群馬県立がんセンターなどで活躍されています。

本は図書室に置いてあります。ご覧ください。

塩冶地区文化祭のお知らせ

3年ぶりに塩冶地区文化祭を開催します。今年度は新型コロナウイルスの感染状況をふまえ、各教室の作品展示が中心となります。ぜひお越しください。

日時：11月19日(土) 9:00～16:00
20日(日) 9:00～12:00

会場：塩冶コミュニティセンター

※新型コロナウイルス感染対策にご協力お願いします
※詳しくは来月回覧予定の文化祭チラシをご覧ください

人事異動のごあいさつ

6月1日付けで、小村志保マネジャーが今市コミセンへ人事交流のため異動になりました。

そして、出東コミセンから高木日那子マネジャーが塩冶コミセンへの異動になり、コミセン間での交流を進めていきます。期間は2年です。



マネジャー 高木 日那子

6月より人事交流で出東から異動してまいりました。入って3ヶ月…斐川とはまた少し違った文化・歴史が刺激的に感じられます。

一日でも早く塩冶に馴染み、より良い地域づくりに取り組んでいきたいです。不慣れなこともあると思いますが、どうぞよろしくお願いします。

今後の予定

- | | |
|----------------|-----------------|
| 10月20日(木) | 区民ハイキング |
| 10月 | 廃食用油石けん作り |
| 11月19・20日(土・日) | 文化祭 |
| 11月 | ふるさと探訪 |
| 11月 | 暮らしに花を「寄せ植え教室」 |
| 12月 | アロマで心と身体をリフレッシュ |
| 12月28日(水) | 仕事納め |



石川工務店様に集会室の補修をしていただきました。ありがとうございました。